

FOR ARCHITECTURE PROFESSIONALS

提案力を高める 3Dパース講座

工務店・設計・ICのための実務活用プログラム

図面だけでは伝わりきらない空間を、
提案・共有・意思決定の武器に変える。
住宅提案の現場で使える3Dパース活用を、実務視点で学ぶ講座です。

2D DRAWING — 3D PERSPECTIVE — DECISION

PRESENTED BY YURIE ・ INTERIOR COORDINATOR & INSTRUCTOR



図面だけでは、提案は伝わりきらない

現場で起きているのは、説明不足ではなく「可視化不足」です

住宅提案では、間取りや寸法だけでなく、
空間の広がり、素材の相性、照明の印象、家具との関係まで含めて判断されます。
しかし、図面や口頭説明だけでは、その完成像を
十分に共有できない場面が少なくありません。

A — PROVIDED

図面・口頭説明



GAP OF
VISUALIZATION

B — RECEIVED

施主の頭の中のバラバラなイメージ



こんな課題はありませんか

提案現場で起きやすい、よくあるロス

施主に空間イメージが伝わりにくい。

色や素材の組み合わせを説明しきれない。

打合せ回数が増え、決定までに時間がかかる。

営業・設計・ICの間でも、完成イメージにズレが出やすい。

こうした課題は、提案力の問題というより、

共有手段の問題であることが多いのです。

01 / COMMUNICATION

伝わらない

口頭・図面では完成像の
イメージが共有しきれない

02 / DECISION

決まらない

打合せ回数が増え、
意思決定が前に進まない

03 / ALIGNMENT

ズレる

営業・設計・ICで
完成像の認識に差が出る

04 / REWORK

戻る

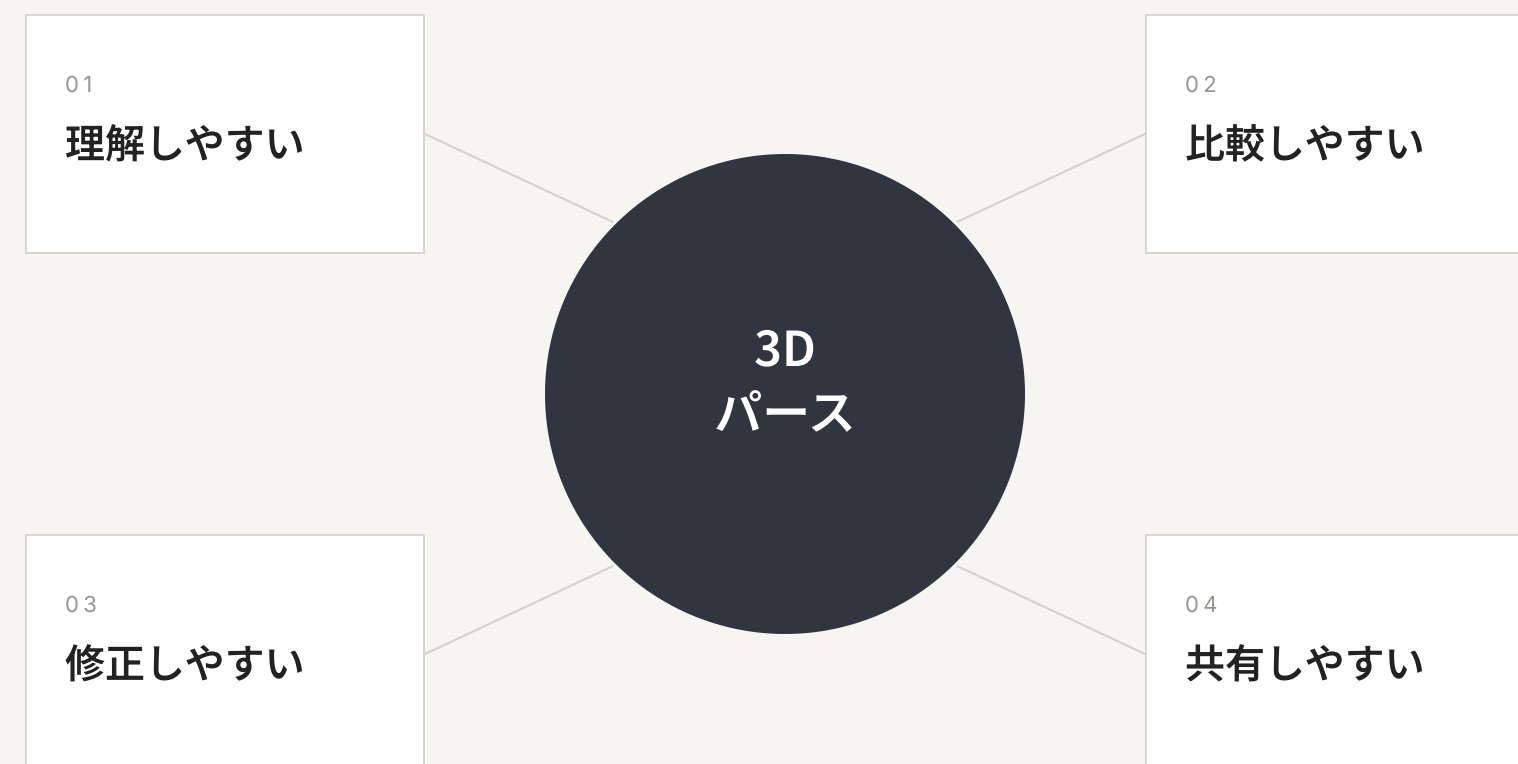
決まったはずの内容が
後から手戻りで再検討に

3Dパースは「見せるため」ではなく 「決めるため」のツール

美しいだけでなく、意思決定を前に進めることに価値がある

3Dパースの役割は、単に見栄えのよい資料をつくることではありません。

施主が比較しやすくなり、担当者が説明しやすくなり、社内でも共通の完成像を持ちやすくなる。
つまり、提案そのものの**精度とスピード**を高める実務ツールです。



A TOOL FOR DECISION, NOT DECORATION

実務のさまざまな場面で活用できます

新築提案から仕様決め、リフォーム提案まで

新築提案では、空間全体の方向性を早い段階で共有できます。仕様決めでは、床・壁・照明・家具の相性を事前に確認できます。

リフォーム・リノベ提案では、Before / After の差を視覚的に示しやすくなります。営業支援や社内共有にも有効で、提案品質の底上げにつながります。



01 / NEW BUILD

新築提案

空間全体の方向性を
早い段階で共有



02 / MATERIALS

仕様決め

床・壁・照明・家具の
相性を事前に確認



03 / COMPARE

比較提案

複数案を視覚的に並べ
判断材料を増やす



04 / RENOVATION

リフォーム

Before / Afterの差を
視覚的に提示



05 / TEAM

社内共有

営業・設計・ICで
完成像をそろえる

導入すると、提案の進み方が変わります

「伝える打合せ」から「判断できる打合せ」へ

図面中心の提案では、施主が頭の中で完成形を補う必要があります。3Dパースが入ることで、比較と判断がしやすくなり、迷いが減り、会話の質が変わります。結果として、提案の説得力、打合せの密度、決定スピードが高まりやすくなります。



導入前によくある不安

実際には、こう整理すると判断しやすくなります

「難しそう」「時間がかかりそう」「AIがあれば十分では」と感じる方は少なくありません。
ただ実務では、再現性・比較検討・寸法感・修正対応が求められます。必要な範囲から順序立てて学べば、導入ハードルは大きく下げられます。

NO.	A — MISCONCEPTION	B — REALITY
01	難しそう、覚えるのが大変	必要な範囲から順序立てれば実務レベルに到達できる
02	作成に時間がかかりそう	打合せ手戻りの削減で、トータルの時間は短くなる
03	AI画像があれば十分では	実務に必要な再現性・寸法・修正対応はAIだけでは難しい

この講座では Coohom を実務ツールとして活用します

内観・外観・外構まで、一貫して扱いやすいクラウド型3Dパースソフト

Coohomは、住宅提案に必要な表現を比較的
短時間で形にしやすいクラウド型ツールです。

内観だけでなく、外観や外構にも対応しやすく、
レンダリングやパノラマ表現まで一貫して扱えます。

単に「作れる」だけでなく、「提案資料として使いやすい」ことが大きな強みです。



Coohomが実務で使いやすい理由

スピード・表現力・提案活用のバランスが良い

提案現場では、極端に複雑すぎる操作より、必要な品質を適切な時間で出せることが重要です。

Coohomは、空間の再現、素材表現、視点設定、レンダリング、パノラマ化までを一連で進めやすく、住宅提案の現場に落とし込みやすい特長があります。

01

CREATION

つくりやすい

必要な品質を、適切な時間で形にできる。住宅提案に必要な要素が、最初から備わっている。

02

EXPRESSION

伝えやすい

素材・光・視点まで含めて、完成像を具体的に提示できる。
パノラマで臨場感も補完。

03

APPLICATION

提案に載せやすい

アウトプット形式が提案資料に展開しやすく、社内・対施主
どちらにも使いやすい。

この講座で身につくこと

操作方法だけでなく、実務で使えるレベルまで落とし込む

Coohomの基本操作から、住宅で頻出する要素の再現までを体系的に学びます。吹き抜け、間接照明、下がり天井、小上がり和室、玄関、バルコニー、外観、外構など、実務で使いやすい内容を幅広くカバー。加えて、見せ方や構図の考え方も含め、提案に使える完成度を目指します。

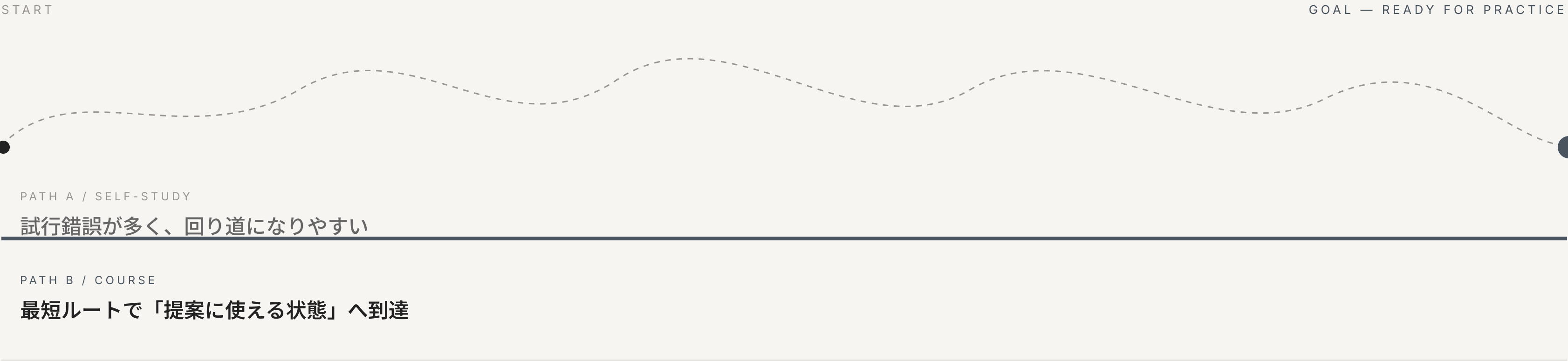
LEARNING MAP — 5 STAGES



独学ではなく、講座で学ぶ意味

必要な順番で学ぶことが、最短で実務活用につながる

独学でもソフトに触ることはできます。ただ、どこから学ぶべきか、どの設定が品質を左右するのか、実務で使うには何が不足しているのかを自力で見極めるには時間がかかります。講座で順序立てて学ぶことで、遠回りを減らし、実務に使える形まで持っていきやすくなります。



講師プロフィール

実務と教育の両方から、3Dパース活用を支援



NAME

西谷 有里枝 NISHITANI YURIE

建築専攻出身ではない立場から3Dパースを実務に取り入れ、提案・制作・講座運営を通して、多くの受講生の習得支援を行ってきました。専門職の方にも、これから業務に取り入れたい方にも、どこでつまずきやすいか、どこまでできれば実務で使えるかを現実的に整理して伝えます。

ROLE 01

実務活用

住宅提案での制作実績

ROLE 02

講座運営

オンライン講座の企画・運営

ROLE 03

受講生支援

個別質問・運用フォロー対応

学びっぱなしで終わらせないサポート設計

実際に使い始めた後の疑問にも対応しやすい環境

講座は動画で完結するだけでなく、
質問や確認ができる環境があることで、
実務導入の途中で止まりにくくなります。

使い始めてから出てくる細かな悩みや、
見せ方・整え方の疑問にも対応しやすいため、
学習を「知識」で終わらせず、
「運用」までつなげやすい構成です。



この講座は、こんな方におすすめです

提案品質を上げたい実務者に向いています

工務店・設計・IC・営業・リフォーム提案など、住宅提案に関わる実務者の方を主な対象としています。

外注だけに頼らず、自社にも提案素材を持てるようにしたい方、若手スタッフとも共有しやすい提案手法を整えたい方に適しています。



FOR 01

工務店

提案力を底上げし、
受注精度を高めたい



FOR 02

設計

設計意図を、より
明確に共有したい



FOR 03

**インテリア
コーディネーター**

素材・色・家具の組合せを
具体的に提示したい



FOR 04

営業

完成イメージをより
明確に伝えたい



FOR 05

リフォーム提案

Before/Afterを
視覚的に提示したい

講座詳細・お申込み

提案力の底上げを、単発の外注ではなく、自社に蓄積する

COURSE OVERVIEW

提案力を高める3Dパース講座

Coohomの操作習得にとどまらず、住宅提案で使える3Dパース表現を、体系的に身につけるためのプログラムです。

外注コスト、打合せの手戻り、共有ロスを考えると、社内にこのスキルを持つ意義は小さくありません。

CONTENTS

- 01 Coohom基礎操作 / モデリングワークフロー
- 02 室内表現（吹き抜け・下がり天井・和室・玄関 ほか）
- 03 光・素材・マテリアル設定
- 04 外観・外構表現
- 05 提案資料への展開・見せ方・構図

PRICE

要お見積り

PLAN

- A. 伴走型オンラインスクール
- B. 買い切り講座
- C. オーダーメイドプラン

研修プランはご要望をヒアリングの上、カスタマイズ可能です。

お問い合わせは公式LINEより →